

政 策 20

～安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする～

「目標値」等一覧

| 総合計画前期基本計画における政策指標 | | | | | | |
|---|---------|--------|--------|--------|-------------|-------------|
| 【実現したい状態】水害を少なくする | | | | | | |
| | 起点値 | 達成値 | | | 目標値 | |
| | 平成13年 | 平成16年 | 平成18年 | 平成19年 | 19年(2次実施計画) | 22年(3次実施計画) |
| 浸水面積 | 108.9ha | 99.5ha | 88.8ha | 85.0ha | 83.9ha | 76.7ha |
| 目標値設定の説明 | | | | | | |
| 大規模浸水被害常習化地区の水害軽減化を図るための改修計画に基づく目標値とする。 | | | | | | |

| 総合計画前期基本計画における政策指標 | | | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 【実現したい状態】①緑や水にふれあえるようにする ②汚水が川に直接流れないようにする | | | | | | |
| | 起点値 | 達成値 | | | 目標値 | |
| | 平成13年 | 平成16年 | 平成18年 | 平成19年 | 19年(2次実施計画) | 22年(3次実施計画) |
| ①BOD (75%)値 (国分川水系・ 坂川水系) | ①15mg/ℓ (国分川) 5.9mg/ℓ (坂川) | ①8.9mg/ℓ (国分川) 4.6mg/ℓ (坂川) | ①7.5mg/ℓ (国分川) 4.1mg/ℓ (坂川) | ①8.6mg/ℓ (国分川) 5.1mg/ℓ (坂川) | ①11mg/ℓ (国分川) 5.4mg/ℓ (坂川) | ①10mg/ℓ以下 (国分川) 5mg/ℓ以下 (坂川) |
| ②下水道利用率 | ②62.17% | ②68.63% | ②71.35% | ②72.26% | ②67.63% | ②76.30% |
| 目標値設定の説明 | | | | | | |
| ①環境基本法の環境基準に基づく水質目標値とする。 | | | | | | |
| ②下水道整備計画（H18実績より算定）に基づく目標とする。 | | | | | | |

政策20

安全な川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする

1.水害を少なくする

1. 現状と課題

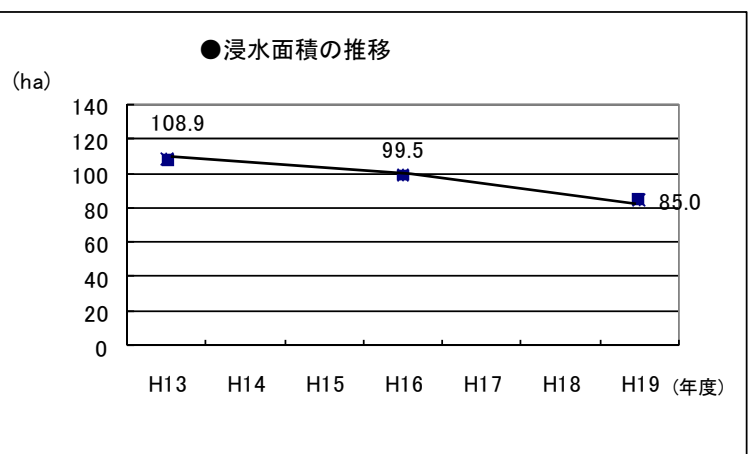
本市における河川は、江戸川に沿った低地を中心とする坂川流域、市川市を下流域とする真間川流域、手賀沼を下流域とする手賀沼流域の3つの流域に分かれています。過去の大雨では、坂川と新坂川に挟まれた栄町・西馬橋地区や長津川沿いの中和倉・新作地区、前田川沿いの八ヶ崎地区、国分川沿いの大橋地区、春木川沿いの日暮地区などで浸水被害が発生していましたが、河川や排水路の断面積を広げる改修事業により、年々浸水区域も減少しています。

これらの整備は基本的に1時間50mm程度の降雨を想定しておりますが、近年全国的には、これまでの想定を超える降雨が頻発しており、アスファルト等により降雨が浸透せずに短時間で低地に集中する“都市型の水害”など、大規模な水害が発生しています。

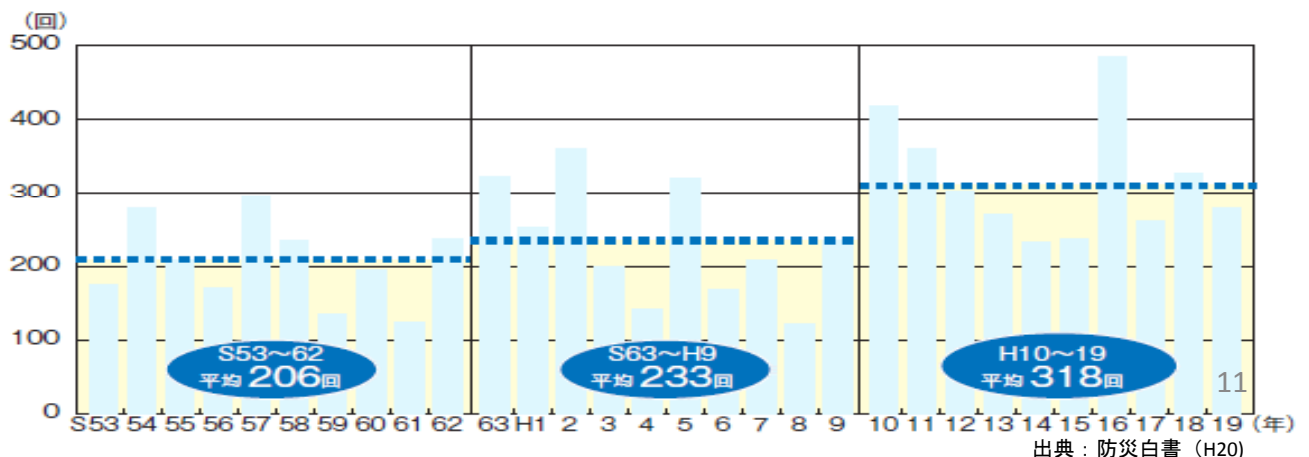
【特筆すべきニーズの変化】

- ① 浸水被害の恐れのある地区が、集中豪雨に見舞われても、浸水被害が起きないようにすることが望まれています（ニーズの増）
- ② 集中豪雨のときでも、幹線道路は安全に移動できるようになっていることが望まれています（ニーズの増）
- ③ 浸水被害エリア以外の住民は、浸水被害対策への関心が低くなっています（ニーズの減）

●松戸市の河川流域（全体：61.33Km²）



●1時間降水量50mm以上の降水の発生回数



2. 取り組み状況

浸水被害常襲化地区の水害の軽減化及び解消を図るため、河川と排水路の改修計画を立てています。

河川については、本市東部の真間川流域を1時間50mm程度の降雨に対応できるように、国分川の河道を整備を整備しました。鋼矢板で仕切られた川を広々とした土手に整備して毎秒70tの水が流れるようになりました。

排水整備事業については、坂川流域では根木内地先の「上富士川上流排水整備事業」と中和倉・新作地先の「長津川排水整備事業」、真間川流域では「春木川排水整備事業」と市川市・鎌ヶ谷市との共同による「紙敷川排水整備事業」が主な事業で、その他近年の局所的な集中降雨などによる浸水対策を進めます。

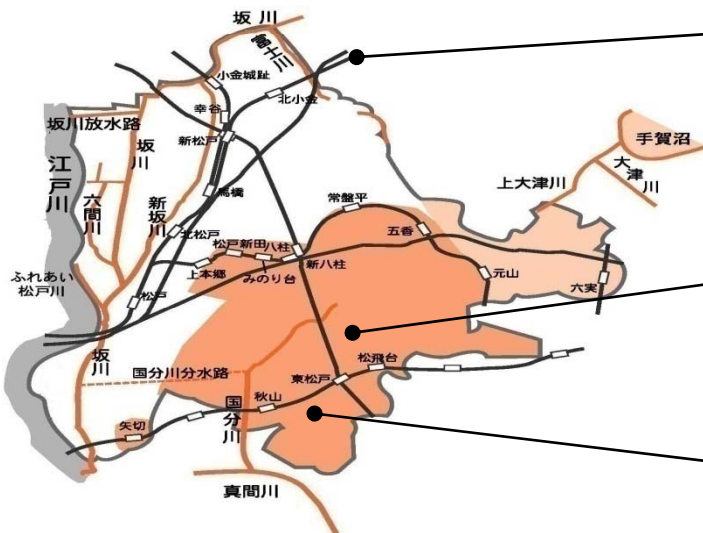
また、降雨が一度に集中して河川に流出しないよう、一時的に貯留する貯留池が38ヶ所、学校のグラウンドを利用した貯留施設が31ヶ所整備されており、宅地開発に対しては、事業敷地内に降った雨水は、一度、雨水流出抑制施設を経由をし、洪水の軽減を図っています。

ソフト面での対応としては、浸水想定区域を洪水ハザードマップとして市民に配布して、洪水に備えるための情報を提供しています。

【特筆すべき松戸の強み】

- ① 雨水貯留池や学校のグラウンドを利用した貯留施設などの施設整備と一般住宅への雨水浸透ますの設置指導などにより、降雨の急激な河川への流入を軽減する対策が進んでいます（強み）
- ② 河川や排水路の整備が進み、一定の降雨量に対しては、被害が少なくなっています（強み）

●長津川排水整備事業と紙敷川排水整備事業



出典：松戸市のホームページ



整備された上富士川



整備された春木川



整備された国分川

●雨水貯留池一覧

| No. | 名称 | 貯留量 (mf) | 貯留池面積 (mf) | No. | 名称 | 貯留量 (mf) | 貯留池面積 (mf) |
|-----|------------|----------|------------|-----|-----------|----------|------------|
| 1 | ユーカリ交通公園 | 17,600 | 6,399 | 20 | 西馬橋 | 187 | 240 |
| 2 | 高柳新田 | 31,700 | 7,540 | 21 | 古ヶ崎 | 490 | 350 |
| 3 | 小金きよしヶ丘 | 2,000 | 831 | 22 | 根木内東 | 1,780 | 457 |
| 4 | 第六中学校 | 6,700 | 2,193 | 23 | 中和倉寒風沖 | 144 | 36 |
| 5 | 栗山 | 2,900 | 490 | 24 | 高柳中島込 | 171 | 127 |
| 6 | 神田川上流 | 12,000 | 2,000 | 25 | 関台 | 14,000 | 4,135 |
| 7 | 八ヶ崎 | 300 | 61 | 26 | 松戸赤発毛 | 145 | 67 |
| 8 | 小金原鉄塔線下 | 5,000 | 1,050 | 27 | 牧の原1丁目 | 1,190 | 400 |
| 9 | 牧の原 | 23,000 | 12,140 | 28 | 中和倉寒風 | 196 | 70 |
| 10 | 原の山 | 300 | 152 | 29 | 幸谷ポッケ | 162 | 40 |
| 11 | 上本郷小学校 | 5,000 | 1,040 | 30 | 高塚新田北谷台 | 588 | 260 |
| 12 | 製香台 | 13,000 | 5,000 | 31 | 和名ヶ谷東台 | 400 | 123 |
| 13 | 五番一文字第一 | 5,000 | 864 | 32 | 高塚新田北谷台第2 | 313 | 117 |
| 14 | 常盤平 | 5,700 | 882 | 33 | 八ヶ崎バスタウン | 130 | 59 |
| 15 | 金ヶ作西ヶ沢 | 1,000 | 2,000 | 34 | 高塚新田北谷台第3 | 501 | 182 |
| 16 | 高塚新田 | 425 | 81 | 35 | 金ヶ作陣屋前 | 145 | 164 |
| 17 | 松戸新田第二市営住宅 | 160 | 360 | 36 | 松戸新田陣ヶ前 | 2,569 | 626 |
| 18 | 五番一文字第二 | 8,300 | 3,540 | 37 | 阿原塚宮ノ内 | 3,551 | 900 |
| 19 | 阿原塚寺ノ台 | 5,200 | 928 | 38 | 松戸白山 | 198 | 67 |
| | 合計 | — | — | | | 172,145 | 55,971 |

出典：松戸市のホームページ

政策20

安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする

2.水環境をよくする

1. 現状と課題

江戸川及び坂川流域では急激な都市化が進み、以前は汚濁や臭気の発生など河川の水環境が大きく悪化していました。このため行政（国・県・市）と地域住民が一体となった「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21）」が策定され、国による「ふれあい松戸川」の整備や下水道事業等との連携などにより水環境の改善が進んでいます。現在は平成22年度を目標とする「第二期水環境改善緊急計画（清流ルネッサンスII）」により更に水環境改善の施策を進めています。

千葉県が主体となり、市が協力して進めている「坂川再生事業」では、小山から赤塚までの市街地を流れる区間で、川沿いの歩道や川岸の整備、水辺に近づける工夫、植樹やレンガ橋の保存などを進めています。

河川水質の代表的な指標であるBODの推移をみると、坂川流域では環境基準値の10mg/lを下回り、近年は5mg/l前後となっていますが、比較的下水道の整備などが遅れている国分川流域では、環境基準値（10mg/l）をようやく下回る程度となっています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 生活排水が河川を汚す原因とならないことが望まれています（ニーズの増）
- ② 日常生活において川や水辺が憩いを与えてくれることが望まれています（ニーズの増）

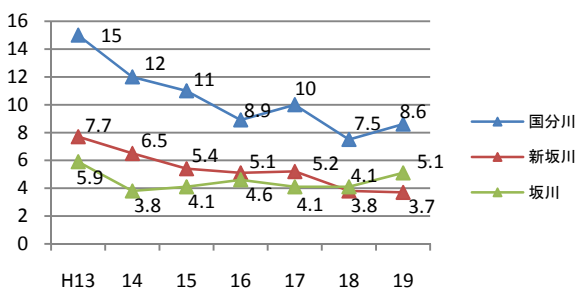
●親水マップ



●親水マップに掲載されている湧水等

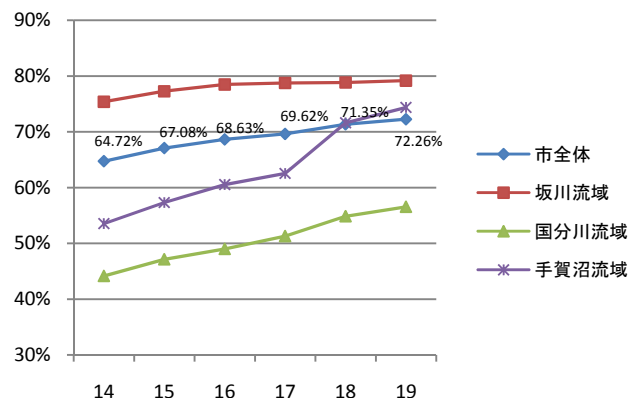
- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 幸田湧水 | 10. 川の一里塚(古ヶ崎) |
| 2. 富士川親水広場 | 11. 千駄堀湧水広場 |
| 3. 新坂川親水護岸 | 12. 江戸川松戸フラワーライン |
| 4. 川の一里塚(主水新田) | 13. 宮ノ下湧水 |
| 5. 六間川桜並木 | 14. 川の一里塚(樋之口) |
| | 15. 竹ヶ花雷電湧水 |
| | 16. ふれあい松戸川 |
| | 17. 小山親水水路 |
| | 18. 坂川再生事業 |
| | 19. 国分川多自然護岸 |
| 6. 旭町水辺広場 | 20. 坂川親水広場 |
| 7. 坂川親水プロムナード | 21. 川の一里塚(矢切) |
| 8. 新坂川緑道 | 22. 秋山湧水 |
| 9. 大師湧水 | 23. 柳原親水広場 |

●坂川・新坂川・国分川のBOD経年変化（75%値）



出典：環境の現状と対策

●河川流域ごとの下水道利用率の推移



出典：下水道整備課資料

2. 取り組み状況

水環境を改善するための具体的な取り組みとしては、浄化施設の整備や導水事業などの河川事業の他に下水道事業や地域住民による河川浄化活動、下水道整備が遅れている地域を対象とした合併処理浄化槽の設置補助などを進めています。

また、家の新築や建て替えに際して、雨水浸透ますの設置をお願いして、地下水や湧水の保全など、水環境の再生を図っています。

これらの水環境の改善により、河川環境の向上を目指した整備を進めるとともに、清流復活をアピールし、環境学習など市民参加による水辺活用プロジェクトを推進します。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- 市内河川への導水、下水道の整備や合併処理浄化槽の設置補助などにより、河川の水質改善を行っています(強み)

●河川浄化施設と導水場所の位置



●河川愛護団体活動マップ



●合併処理浄化槽設置補助対象地域 (H21年度)

公共下水道の整備が概ね10年間見込みのない地域を対象としています。

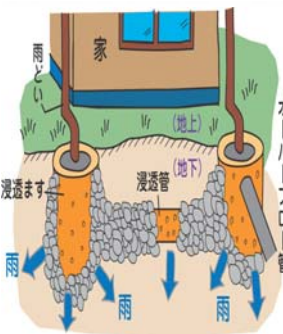
| 平成21年4月1日現在 | |
|-----------------|--------------------|
| 1.字のすべてが対象となる地域 | 旭町・幸田 |
| 2.字の一部が対象となる地域 | 五香西一丁目・二丁目・四丁目・五丁目 |
| | 五香南一丁目 |
| | 紙敷 栗ヶ沢 |
| | 五香六栄 日暮 紙敷一丁目 金ヶ作 |
| | 日暮 紙敷二丁目 千駄堀 |
| | 田中新田 紙敷三丁目 八ヶ崎四丁目 |
| | 松飛台 和名ヶ谷 八ヶ崎五丁目 |
| | 串崎新田 河原塚 中和倉 |
| | 五香五丁目 大橋 |
| | 五香西三丁目 秋山 |
| | 六栄一丁目から 高塚新田 |
| | 六栄四丁目まで 小山 七右衛門新田 |
| | 幸田三丁目 平賀 上矢切 主水新田 |
| | 東平賀 中矢切 小山 |
| | 根木内 下矢切 |
| | 栗山 |

※紙敷・秋山等の区域整理事業区域内は、補助対象地域外となります。

備考)補助対象地域は、毎年見直しを行います。

詳細は、環境保全課の窓口で確認してください。

●雨水浸透ますの設置について



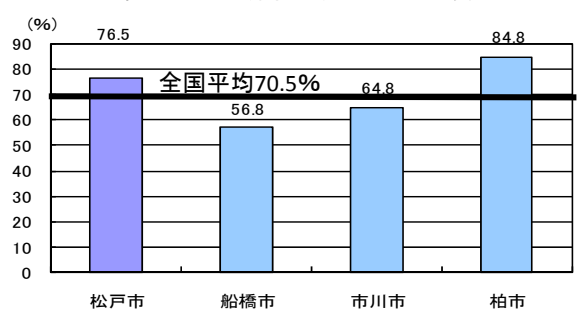
松戸市では、家の新築や建て替えの際には、雨水浸透施設(浸透ます・浸透管など)の設置をお願いします。

雨水浸透ますの設置により洪水の軽減が図られるだけでなく、地下水や湧水が保全・回復したり、平常時の河川流量が増えるなど、水循環が再生されます。

●下水道整備済区域 (H19年度)



●下水道普及率の近隣市比較 (H18年度)



出典：日本下水道新聞